

# 本会の活動から

## 東京都島しょ部のがん検診に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした今年度のがん検診のうち、神津島村の肺がん・結核検診が神津島村保健センターなどで9月5～7日に行われ、本会が協力した。

## 東京工科大学の学生の現場実習に協力

本会では毎年、東京工科大学が行う統合看護実習に協力している。今年も7月24日に6人の学生



を受け入れた。実習当日には、労働衛生機関における保健師の活動や保健指導室の工夫などの講義を行った。

実習に参加した学生からは、「労働衛生機関の保健師は、一度の支援のタイミングで対象者のニーズを捉え、対象者に合った健康増進支援を提供していることを学んだ」などの感想が聞かれた。

## 東洋大学と帝京短期大学の学生の 実習に協力

本会は毎年、東洋大学と帝京短期大学の養護教諭養成課程の学生を対象とした実習に協力している。今年も、8月2日に両大学合同で5回の実習を実施。東洋大学から17人、帝京短期大学から2人が参加した。

午前の部では、スタッフが学校保健事業や学校健診Q&Aなどの説明を行い、午後の部では、臨床検査技師立ち会いの下、血液検査、尿検査、心電図検査、側弯症検査などの見学を行った。実際に検査機器に触れ、検査を体験した学生からは、「検査のことを理解でき、子どもたちの目

人間ドック・地域健診」の4つのグループに分かれ、積極的な意見交換が行われた。

## 市ヶ谷超音波カンファレンスの開催

第162回市ヶ谷超音波カンファレンスを7月26日、本会にて開催した。このカンファレンスは、国立病院機構東京医療センターの水口安則医師を講師に招き、超音波診断精度の向上および本会超音波技師の高度な知識、さらなる技能向上を目指して、隔月に実施している。本会のスタッフのみでなく、他施設にも勉強の場として提供しており、今回は35人が参加した。

## 学術集会への参加等

- 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会が7月11～13日、「誰一人取り残さない小児循環器学」をテーマに福岡県福岡市で開催され、理事の阿部勝巳の他、健診事業部の職員2人が参加した。
- 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会が7月18～20日、「Next innovation toward paradigm shift」をテーマに鹿児島県鹿児島市で開催され、理事長の久布白兼行が参加した。
- 第49回日本超音波検査学会学術集会が7月19～21日、「Change Challenge Chance」をテーマに宮城県仙台市で開催され、検診検査部長の神宮字広明、検診検査部の職員2人が参加した。
- 第51回日本マスキリーニング学会学術集会が8月23～24日に「新生児マスキリーニングは新

- 時代へ」をテーマに熊本県熊本市で開催され、母子保健検査部小児スクリーニング科の職員3人が参加した。このうち、同科の石毛信之は、「シンポジウム1 新生児スクリーニングの標準化と精度管理」の座長を務めた他、「拡大新生児スクリーニングにおける適切な外部精度管理のあり方」をテーマに講演した。
- 第31回日本産業精神保健学会が8月24～25日に「AI時代と産業精神保健の新しいパラダイム」産業医学の聖地からの発信」をテーマに福岡県北九州市で開催され、健康増進部の職員1人が参加した。
- 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会が9月6～7日に「明日からの未来へ、人生を支える健診」をテーマに神奈川県横浜市で開催され、理事長の久布白兼行、健診事業部長の廣瀬篤史、施設健診事業部の職員3人、検診検査部の職員3人、消化器診断部長の川崎成郎、健康増進部長の加藤京子の他、健康増進部の職員1人が参加した。

## 本会の職員が全衛連の功績賞、 奨励賞を受賞

全国労働衛生団体連合会（全衛連）は、主に労働衛生機関が会員となり、検査技術や保健指導技術等の向上を図り、労働者の健康の保持増進、国民保健の発展に寄与することを目的に活動している団体である。

全衛連では、毎年会員施設において業務に精励し、顕著な功績が認められた者に功績賞、奨励賞を贈っている。6月18日に開催された令和6年度

線での声かけの必要性を感じた。子どもたちへの声かけに活かしたい」などの感想が聞かれた。本会スタッフにとっても有意義なものとなった。

## 予防医学事業中央会

### 令和6年度第1回全国運営会議に参加

令和6年度第1回全国運営会議（主催 予防医学事業中央会）が7月18日、東京都新宿区で開催され、全国32支部より約80人が参加した。この会議は、予防医学事業中央会の都府県支部の役員、幹部職員を対象に年2回開催され、予防医学事業に関する今後の展開や取り組みについて討議される。本会からは、専務理事の前田秀喜、理事の阿部勝巳、矢島晴美、黒田聡史が参加した。

## 予防医学事業中央会

### 第41回全国情報統計研修会に参加

第41回全国情報統計研修会（主催 予防医学事業中央会、一般財団法人広島県環境保健協会）が8月22～23日、広島県広島市で開催された。予防医学事業中央会の都府県支部で健康診断の事務を担当するスタッフが集うこの研修会には、全国の都府県支部から約90人が参加。本会からは、分科会の進行役を務めたデータ管理部の上村篤弘、データ管理部の職員2人、システム管理部の職員1人が参加した。

今回の研修会では、「情報セキュリティについて考える」をテーマにサイバー攻撃への対策等についての全体討議が行われた他、分科会では、情報処理分野、成績処理分野（地域健診・施設健診

定時総会で今年度の表彰が行われ、本会の母子保健検査部の職員1人が功績賞を、検診検査部と母子保健検査部の職員2人が奨励賞を受賞した。

## 第314回ヘルスケア研修会のご案内

「ヘルスケア研修会」は、産業医や保健師、看護師など産業保健に携わる方々の日々の健康管理の実践に役立つテーマを取り上げ、第一線で取り組んでいる専門家を講師に迎え、実施する研修会です。第314回は、「メタボリックドミノ」概念の提唱者として知られる伊藤裕氏をお招きして、「メタボリックドミノと幸福寿命」をテーマに開催します。

### テーマ「メタボリックドミノと幸福寿命」

- 講師：伊藤 裕氏  
慶應義塾大学予防医療センター 特任教授
- 会場：ルーテル市ヶ谷ホール（東京都新宿区）
- 現地開催：2025年1月24日（金）  
14時～15時30分
- オンデマンド配信：2025年3月17日～6月16日
- 現地開催定員：200人  
※オンデマンド配信は定員なし
- 参加費・聴講料：無料
- 現地開催申込期間：2024年11月1日～12月20日  
※定員になり次第、受付を終了させていただきます。

- 詳細・申し込みは、本会健康管理コンサルタントセンターのホームページよりご確認ください。  
[https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/healthcare\\_cc/next.html](https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/healthcare_cc/next.html)
- 問い合わせ：健康管理コンサルタントセンター事務局 ☎03-6265-0145

